

## ニ ッ キ ン

## 評価に第三者機関の活用を

トータルケア・システム ちょう たいし  
代表取締役 長 武志氏



トータルケア・システム（本社：福岡市、資本金1億200万円、年商約3億円、従業員12人）は、紙おむつのリサイクル事業を手がけるベンチャー企業で01年11月設立。産学官共同研究開発事業として04年8月にリサイクル処理工場「ラブ・フォレスト大牟田」が完成、05年4月から本格的な操業を始めた。医療機関や福祉施設から排出される紙おむつを水溶化処理し、分離したパルプで再度紙おむつを生産する。

「高齢化社会の進展に伴い紙おむつの需要はますます高まる。従来、使用済み紙おむつは焼却するしかな

かったが、焼却せず再利用することでCO<sub>2</sub>の削減だけでなく森林伐採を減らすこともできる。初の試みであり、技術・ノウハウを提供して社会的なシステムとして全国に拡大していきたい」。また、「紙おむつの使用者の心の負担を軽減できることも大きなメリット」と強調する。

取引金融機関は福岡銀、中小企業金融公庫、商工中金。金融機関に対しては「新規事業に対する金融機関の理解度は低い。事業を評価する行内の制度を充実させることも大事だが、第三者の評価機関を活用することが必要では」と語る。（福岡）

**ビジネス**